

「ことば」について
科学的・総合的に考えることの
面白さや大切さなどを、
皆さんにもっと知ってもらいたい。
そういう思いから
『国語研 ことばの波止場』を
全面リニューアルしました。
ことばについて、
さまざまな話題をお伝えしていきます。
リニューアル後最初となる特集では、
私たち
国立国語研究所を紹介します。



国立国語研究所とは

日本語や社会における言語生活を科学的・総合的に研究し、その成果を広く社会に提供することを目的とした研究機関です。

略称は国語研

英語名称は National Institute for Japanese Language and Linguistics。英語の略称は NINJAL。ニンジャルと読みます。

設立

1948（昭和 23）年設立で、70 年以上の歴史があります。創立時は明治神宮聖徳記念絵画館（東京都新宿区）の一部を借用して、研究員 30 人、庶務部 5 人で業務を開始しました。



貴重書庫

研究図書室の奥にある、大正時代以前の貴重な資料を保管している書庫です。いくつかの資料はウェブ上で画像を公開しています。



研究図書室

日本で唯一の日本語に関する専門図書室です。日本語と外国語の図書約 16 万冊、雑誌約 6,000 種を所蔵しています。



研究資料室

『日本言語地図』作成時の原カードや言語調査の調査票・収録音源、コーパス作成時の書籍や雑誌の原本、音声実験に用いた装置などを保存しています。



所在地

東京都立川市。東京都千代田区一ツ橋、北西が丘を経て、2005 年に移転しました。

施設

地上 4 階・地下 1 階建て

職員数

2022 年 4 月 1 日現在
160 人（所長 1、教授 13、准教授 10、助教 3、事務・技術職員 30、非常勤職員 103）

特集 国立国語研究所



国語研のロゴマーク

言語の「言」の文字を使い、しなやかでみずみずしい言葉の「葉」がさわやかな風にそよいでいる様子を図案化したものです。